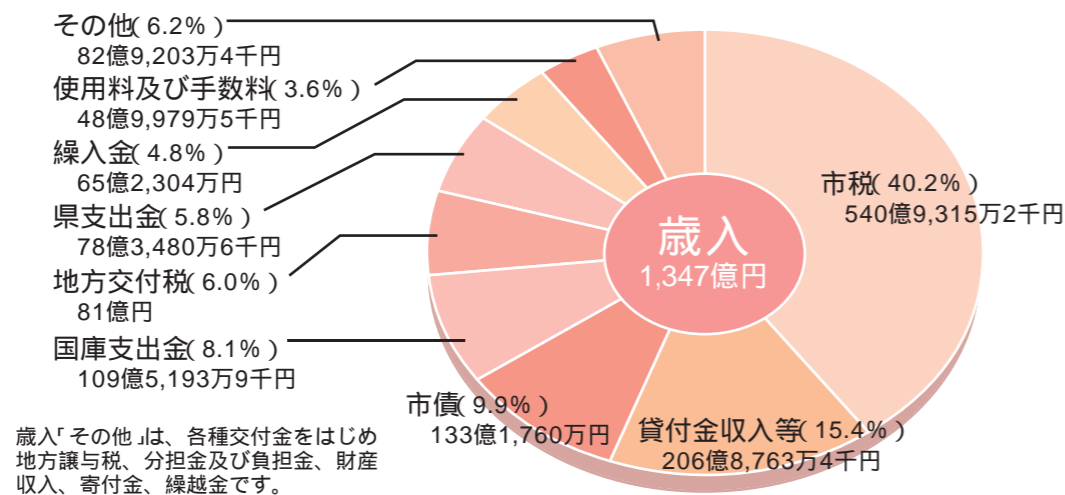


一般会計

歳入



歳入「その他」は、各種交付金をはじめ地方譲与税、分担金及び負担金、財産収入、寄付金、繰越金です。

予算総額 2,181億5,199万7千円

| | |
|---------|---------------|
| 一般会計 | 1,347億円 |
| 特別会計 | 598億2,087万9千円 |
| 水道事業 | 92億9,997万4千円 |
| 公共下水道事業 | 143億3,114万4千円 |

平成21年度の予算決まる

一般会計は対前年度比1.0%増、福祉、都市計画、教育に重点的に配分

二月二十四日から三月十八日まで開かれた第一回市議会定例会で、平成二十一年度予算が可決されました。一般会計予算は千三百四十七億円で、前年度比1.0%の増となっています。特別会計予算と企業会計予算を合わせた総額は、1.8%の減となります。

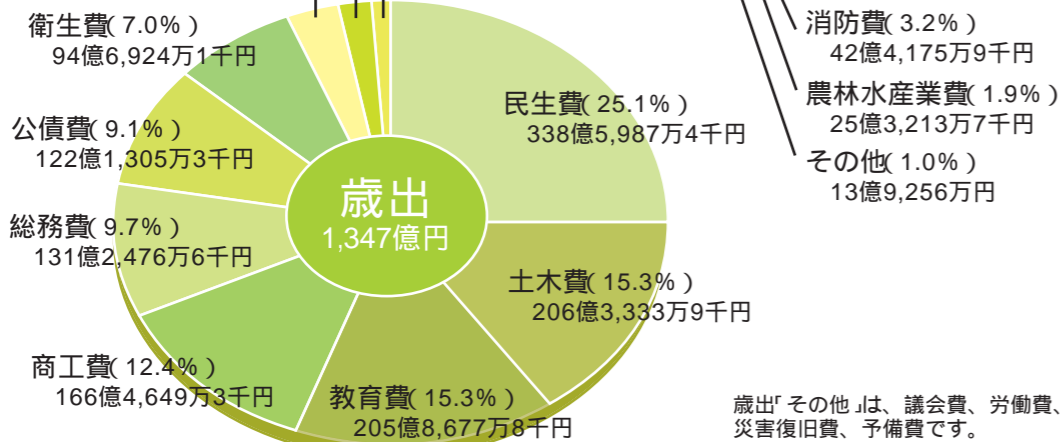
歳入 財政運営の根幹となる市税については、景気後退による法人市民税の減額などを見込み、前年度比3.0%減となる五百四十億九千三百五十二万円を計上しました。財政状況が一段と厳しさを増

す中、財政の健全性を堅持しつつ、市民生活の向上や地域の活性化、市政の発展のための施策や事業に予算を配分しました。特に、経済状況の急激な変化に対応するため、融資条件の緩和などの措置を講じ、中小企業の資金繰りの円滑化を進めます。

また、国立病院機構高崎病院内に併設するメディカルサポートセンターや、医療保健センター（仮称）と新図書館の一体的な建設のほか、スマートインタ―チェンジや群馬地域運動広場（仮称）などの整備に取り組み、第5次総合計画の着実な推進を図ります。

一般会計

歳出



歳出「その他」は、議会費、労働費、災害復旧費、予備費です。

各会計の予算額

| 会計別 | 本年度予算額(A) | 前年度予算額(B) | (A)/(B) |
|-----------|-----------------|-----------------|---------|
| 一般会計 | 1,347億円 | 1,333億1,000万円 | 101.0% |
| 特別会計 | | | |
| 国民健康保険事業 | 339億4,436万5千円 | 328億5,061万8千円 | 103.3% |
| 介護保険 | 196億6,679万9千円 | 196億4,653万1千円 | 100.1% |
| 後期高齢者医療 | 30億7,210万4千円 | 30億6,362万5千円 | 100.3% |
| 老人保健 | 8,548万7千円 | 48億7,783万3千円 | 1.8% |
| 簡易水道事業等 | 1億6,955万7千円 | 1億6,190万8千円 | 104.7% |
| 農業集落排水事業 | 2億2,773万2千円 | 3億2,782万9千円 | 69.5% |
| 駐車場事業 | 5億3,051万2千円 | 5億6,443万7千円 | 94.0% |
| 土地取得事業 | 21億2,432万3千円 | 16億733万3千円 | 132.2% |
| 小計 | 598億2,087万9千円 | 631億11万4千円 | 94.8% |
| 水道事業会計 | 92億9,997万4千円 | 97億5,771万8千円 | 95.3% |
| 公共下水道事業会計 | 143億3,114万4千円 | 160億9,053万6千円 | 89.1% |
| 合計 | 2,181億5,199万7千円 | 2,222億5,836万8千円 | 98.2% |

歳出費目用語解説

- 民生費 = 福祉など市民の安定した社会生活を保障するために必要な経費
- 土木費 = 道路、橋、河川、公園などの建設や維持に要する経費
- 教育費 = 小・中学校などすべての教育関係に要する経費
- 商工費 = 商工業の振興を図るための支援や観光振興のための経費
- 総務費 = 市の各種計画の策定や推進、市の内部管理などの経費
- 公債費 = 市の借入金の返済に要する経費
- 衛生費 = 市民が健康で衛生的な生活環境を保持するための経費
- 消防費 = 消防事業や災害防除または災害が生じた場合の被害を軽減するための経費
- 農林水産業費 = 農林業の振興を図るための支援や生産基盤設備などの経費
- 議会費 = 議会の活動に要する経費
- 労働費 = 雇用促進に係る経費や労働者のための施設管理などに要する経費
- 災害復旧費 = 災害によって生じた被害の復旧に要する経費
- 予備費 = 当初予期しなかった予算外・予算超過の支出に充てるための経費

わが国は、昨年来の世界的な金融危機や原油高騰などによる影響から、企業業績が急激に悪化し、雇用問題にまで波及するなど、100年に一度といわれる経済危機に見舞われています。

このような厳しい経済状況の中、平成21年度の予算編成に当たっては、財政の健全性を堅持しつつ、市民の皆様の視点に立って事業の優先度や緊急度を考慮し、市民一人ひとりが安心して安全に暮らしていけることを最重点に予算を配分しました。

本市は、平成20年度に「交流と創造～輝く高崎」を将来都市像に掲げた第5次総合計画をスタートさせ、平成23年4月1日の中核市移行も見据えながら、新しい都市づくりの第一歩を踏み出したところです。さらに、今年の6月に予定されている吉井町との合併により、新たな地域の魅力が加わり、群馬県を代表する都市として、一層の飛躍と市民サービスの向上を目指してまいります。

今後も、市民の皆様が主体となり「都市と市民の力」を最大限に発揮した「高崎らしい、高崎ならではの」のまちづくりを承継し、「輝く高崎」を目指して全力で取り組んでまいります。

市民の皆様には、本市のまちづくりにご指導と、なお一層のご協力をよろしくお願いいたします。



高崎市長 松浦幸雄

高崎まつり



| | |
|------------------|-------------|
| 農業経営安定緊急融資資金利子補給 | 979万円 |
| 中小企業向け融資の促進 | 152億3,396万円 |
| 中心市街地商業活性化支援 | 1,811万円 |
| 商店街環境施設整備支援 | 3,681万円 |
| 高崎まつりや各地域の祭りの開催 | 1億1,540万円 |
| みさと芝桜公園運営・整備 | 8,880万円 |
| 観光振興計画の策定 | 718万円 |

人々がたどる魅力あるまち

環境保全型農業の推進と有機堆肥利用促進のため、果樹・野菜農家に有機堆肥盤設置費を補助
認定農業者などを対象に、緊急運転資金とつなぎ融資資金の利子を補給
中小企業の円滑な資金繰りを確保し、経営の安定を図るため、融資条件の緩和措置などを実施
中心市街地の商業活性化を総合的に支援するため、商店街団体のイベントなどに補助
商店街の街路灯やアーケードなどを整備するための商業環境づくりを支援
「高崎まつり」をはじめ、各地域の祭りやイベントを支援し、観光都市としてのにぎわいを創出
みさと芝桜公園で、平成22年度の全面ライトアップに向けた整備を実施
観光振興の可能性とその方向性を示すため「高崎市観光振興計画」を策定

便利で快適な住みよいまち

市内循環バス「ぐるりん」の利便性向上を図るため、運行路線の見直しを実施
区画整理事業では、JR高崎駅西口周辺地区、倉賀野駅北地区、浜尻北地区、高崎操車場跡地周辺地区、上中居地区、群馬中央第二地区を重点的に整備
JR高崎駅西口第四地区を再開発整備
街路事業では、高前幹線、飯塚並榎線、矢中下斎田線、富岡生原線など継続事業に加え、新たに下芝線の道路整備を実施
交通結節点機能の向上を図るため、スマートインターチェンジ整備を促進
JR高崎駅東口ペDESTリアンデッキの整備および駅舎改修を推進
山名市営住宅の第4期建て替え工事、新町つくし団地の第3期建て替え工事、倉淵ふるさと住宅建設工事を実施
上水道は、配水管の敷設や老朽管などの敷設替えによる管網整備事業や、施設改良を引き続き推進
下水道は、管きょ整備のほか、事業認可計画などの見直しや高崎駅周辺中心市街地の浸水対策に向けた調査を実施

高崎駅東口ペDESTリアンデッキ



| | |
|------------------|------------|
| バス交通対策事業 | 4億9,349万円 |
| 区画整理事業 | 36億8,673万円 |
| 市街地再開発事業 | 6,680万円 |
| 街路事業 | 14億8,169万円 |
| スマートインターチェンジ整備事業 | 4億5,433万円 |
| 高崎駅東口周辺整備事業 | 3億6,151万円 |
| 山名市営住宅建替事業 | 4億7,756万円 |
| 新町つくし団地建替事業 | 4億7,014万円 |
| 倉淵ふるさと住宅建設事業 | 1億977万円 |

市民とつくるみんなのまち

市民の地域づくり活動への参加意識を喚起し、地域活動をより一層推進
市民参加のまちづくりを制度的に保障するため、自治基本条例の制定に着手
電子自治体たかさきの構築を推進
納税者の利便性向上のため、市税や保険料などのコンビニ収納を開始
豊かで活力のある男女共同参画社会の実現を図るため、高崎市男女共同参画推進条例を制定
平成23年4月1日の中核市移行に向けた体制を整備

花のまちづくり



| | |
|---------------|---------|
| 地域づくり活動推進補助事業 | 7,044万円 |
|---------------|---------|

医療保健センター（仮称）完成予想図



| | |
|-------------------|------------|
| 放課後児童健全育成事業 | 4億4,358万円 |
| 箕郷第一保育園改築事業 | 5億4,152万円 |
| 乳幼児等医療費助成の拡充 | 11億2,318万円 |
| メディカルサポートセンター建設 | 15億6,561万円 |
| 医療保健センター（仮称）建設 | 12億4,444万円 |
| おたふくかぜ予防接種の一部公費負担 | 1,169万円 |
| 妊婦健康診査の充実 | 2億7,894万円 |

すこやかで元気に暮らせるまち

放課後の児童の健全育成を推進するため、放課後児童クラブの運営と施設整備を実施
箕郷第一保育園の園舎を全面改築
榛名地域の子育て支援やボランティア活動の拠点となる榛名地域福祉会館（仮称）を、図書館との複合施設として整備
市制110周年（2010年）に行う、こども都市宣言（仮称）に向け、こどもサミット（仮称）を開催
医療費助成対象者を、10月から通院・入院とも中学3年生まで拡大
国立病院機構高崎病院の全面建て替え整備に併せて、市が病院の一部をメディカルサポートセンターとして整備
保健センター・保健所・休日と準夜の診療所などの機能を備えた複合施設を新図書館と一体的に整備
乳幼児の罹患率が高いおたふくかぜの個別予防接種（任意）に、一部公費負担を実施
安心して子どもを産み育てる環境づくりとして、妊婦健康診査の費用助成を5回から14回に拡大

豊かな心と感性が育つまち

芸術・文化ホールの整備に向けた基本構想を策定するための準備と、音楽センター建物診断の実施
企画文化事業として、第43回松竹大歌舞伎、五嶋龍のバイオリンリサイタルなどを開催
市美術館、市タワー美術館、染料植物園でそれぞれ企画展を実施
昭和56年以前に建設された校舎などの耐震診断を行い、その診断結果に基づき耐震補強設計、補強工事を実施
倉淵地域の3つの小学校を統合するため、諸室を整備
新町第一小学校、倉淵・箕郷両中学校の屋内運動場とプール、中尾中学校の校舎、養護学校の校舎とプールを建設
市内全域の小・中学校に順次自校方式の給食を整備
市民共有の文化遺産として広く活用できるように史跡を保存整備
旧群馬中央中学校跡地に生涯学習センター（仮称）を建設
新図書館を医療保健センター（仮称）との複合施設として一体的に整備
群馬地域に野球場を含めた運動施設と公園を一体的に整備
榛名地域に福祉会館との複合施設として榛名地域図書館（仮称）を建設

市タワー美術館展示



| | |
|----------------|------------|
| 芸術・文化ホール整備検討事業 | 754万円 |
| 芸術企画文化事業 | 3億4,022万円 |
| 耐震補強事業 | 4億8,800万円 |
| 義務教育施設の整備 | 19億2,972万円 |
| 自校方式給食拡充事業 | 3億1,393万円 |
| 生涯学習センター（仮称）建設 | 6,797万円 |
| 新図書館建設 | 9億7,325万円 |
| 群馬地域運動広場（仮称）建設 | 9億1,132万円 |
| 榛名地域図書館（仮称）建設 | 2,424万円 |

廃油回収



| | |
|----------------|-----------|
| ごみ減量化とリサイクルの推進 | 1億7,772万円 |
| 太陽光発電システム導入補助 | 1,000万円 |
| エコパーク榛名第2期施設整備 | 4,655万円 |
| 三ツ寺公園整備 | 1億9,800万円 |
| 観音山公園整備 | 1億9,826万円 |
| 地震体験車購入 | 2,800万円 |

安心でやすらぎのあるまち

防犯情報の提供や自主防犯活動団体への支援により、官民一体となった犯罪抑止活動を推進
ごみの減量化と資源物のリサイクルを推進
地球温暖化対策として、太陽光発電システムの導入に対し、経費の一部を補助
エコパーク榛名の埋め立て期間の延長を図るため、第2期の施設拡幅整備に着手
全国都市緑化ぐんまフェアのフォローアップ事業として、県と共同でまちなか会場でイベントを実施
親水エリアや多目的広場をメインとして三ツ寺公園を整備
カッパピア跡地を中心に観音山公園を整備
防災意識の向上を図るため、老朽化した地震体験車を更新